

セッション 6 : 司会の言葉

横 井 香 平

栃木県立がんセンター呼吸器外科

本セッションではアクブラ (nedaplatin) につき, その単剤の第 I 相試験, 第 II 相試験および至適投与量や副作用, 切除不能非小細胞肺癌に対する本剤とナベルピンおよびジェムザールとの 2 剤併用療法, さらに肺癌の組織型別には最も効果があると思われる扁平上皮癌に対する本剤とタキソテル療法について報告していただいた。

アクブラ (nedaplatin) は日本で開発されたプラチナ製剤であり, その前臨床試験や早期臨床試験も当然わが国で行われた薬剤である。しかし臨床の現場で本薬剤が用いられることは少なく, 多くの参加者にとっても馴染みの薄い抗癌剤であると思われた。これはわが国での市販後臨床試験や世界的なマーケットに載せられていないことによる臨床試験の不足に起因しているようであった。

薬剤的には, 効果, 副作用, 併用療法の容易さなどからみてシスプラチンやカルボプラチンと引けを取らないように思われ, また報告されている扁平上皮癌に対する効果が大きいことから, 今一度検討されても良い薬剤と考えられた。